

令和6年12月12日公告

## もと境川営業所空気調和設備取替工事

設計図書の一部に誤りがありました。下記正誤表をご確認ください。

正誤表

訂正箇所	誤	正
図面 AM-01	<p>足場 (改①2.2.1)</p> <p>※別途工事 ●本工事(図面特記箇所) 外部足場 種別 ※A種:枠組足場 ○B種:くさび緊結式足場 ○C種:単管本足場 ○D種:仮設ゴンドラ ○E種:移動式足場 ○F種:高所作業車</p> <p>1)足場は、労働安全衛生法その他関係法令等に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行なうこと。 2)足場を設ける場合には、「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省 平成21年4月)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立、解体作業時及び使用時には、常時、すべての作業床について手すり、中さん及び幅木の機能を有するものを設置すること。 3)枠組足場及びくさび緊結式足場の設置においては、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行なうこと。 4)外部足場の壁つなぎ材の施工は、撤去後、補修が少ない位置で各階毎に設けるものとし、壁つなぎ材を撤去した後、現状に復する。 5)メッシュ状養生シート(JIS1類)による養生を行なうこと。 6)足場で使用する工具等には、原則として転落防止用ワイヤー等を取り付けて使用すること。 7)仮設足場周辺にはネットフェンス、バリケード、標識ロープ等により立ち入れない様にし、「きけん」、「立入禁止」等の掲示を行なうこと。 防護棚 ※図面特記箇所(地盤面から足場上部までの高さが10mを超える場合) ○不要 1)防護棚が敷地境界線を越える場合には関係各署と打合せの上、届出を行なうこと。 「隊茨剤ト田契目小佐田」</p>	<p>足場 (改①2.2.1)</p> <p>※別途工事 ○本工事(図面特記箇所) 外部足場 種別 ※A種:枠組足場 ○B種:くさび緊結式足場 ○C種:単管本足場 ○D種:仮設ゴンドラ ○E種:移動式足場 ○F種:高所作業車</p> <p>1)足場は、労働安全衛生法その他関係法令等に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行なうこと。 2)足場を設ける場合には、「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省 平成21年4月)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立、解体作業時及び使用時には、常時、すべての作業床について手すり、中さん及び幅木の機能を有するものを設置すること。 3)枠組足場及びくさび緊結式足場の設置においては、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行なうこと。 4)外部足場の壁つなぎ材の施工は、撤去後、補修が少ない位置で各階毎に設けるものとし、壁つなぎ材を撤去した後、現状に復する。 5)メッシュ状養生シート(JIS1類)による養生を行なうこと。 6)足場で使用する工具等には、原則として転落防止用ワイヤー等を取り付けて使用すること。 7)仮設足場周辺にはネットフェンス、バリケード、標識ロープ等により立ち入れない様にし、「きけん」、「立入禁止」等の掲示を行なうこと。 防護棚 ※図面特記箇所(地盤面から足場上部までの高さが10mを超える場合) ○不要 1)防護棚が敷地境界線を越える場合には関係各署と打合せの上、届出を行なうこと。 「隊茨剤ト田契目小佐田」</p>

## 機械設備工事特記仕様書

1. 共通仕様

(1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は国土交通省大臣官房宮庁総務部監修の公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版(以下「標準仕様書」という。)、公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版(以下「改修標準仕様書」という。)及び公共建築設備工事標準規格(機械設備工事編)令和4年版(以下「標準規格」という。)による。

(2) 工事種目に電気設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様はそれぞれの工事仕様書を適用する。

2. 特記仕様

(1) 各項目の①①. 1. 2. は「標準仕様書」第1編、第1章、第1節、2項、(改①. 1. 2.)は、「改修標準仕様書」第1編、第1章、第1節、2項、と関連することを示す。

(2) 特記事項は、●印がついたものを本工事に適用する。ただし●印のない場合は※印を適用する。

(3) 図面に記載された品名・品番等については、品質・形状の程度を示すものであり、使用にあたっては、「標準仕様書」(①. 4. 2.)の項に基づくものとする。

項目		特記事項																																																																																																																																																																																																															
化学物質の濃度測定 (① 1. 5. 8)	○要 (施工前、施工後) <ul style="list-style-type: none"> <li>・測定対象化学物質 ( )</li> <li>・測定方法 ( )</li> <li>・測定対象室 ( )</li> <li>・測定箇所 ( )</li> </ul> ※不要	○要 (施工前、施工後) <ul style="list-style-type: none"> <li>・測定対象化学物質 ( )</li> <li>・測定方法 ( )</li> <li>・測定対象室 ( )</li> <li>・測定箇所 ( )</li> </ul>																																																																																																																																																																																																															
完成図	※要 <ul style="list-style-type: none"> <li>・原図 ※ 1 部(原寸)</li> <li>・複写図 ※ 2 部(原寸背面製本)</li> <li>○( )部(原寸背面製本)</li> <li>○( )部(A3縮小)背面製本)</li> <li>・C A D データ ※ 1 部(但し、C A D データを作成した場合)</li> </ul> ○不要	※要 <ul style="list-style-type: none"> <li>・原図 ※ 1 部(原寸)</li> <li>・複写図 ※ 2 部(原寸背面製本)</li> <li>○( )部(原寸背面製本)</li> <li>○( )部(A3縮小)背面製本)</li> <li>・C A D データ ※ 1 部(但し、C A D データを作成した場合)</li> </ul>																																																																																																																																																																																																															
保全に関する資料	※要(※2部 ○( )部) ○不要 建築管理者への保守に関する説明 ※要 ○不要 「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」にある第1種特定製品を設置改修しきはフロンの回収、充填等を行う場合は、第1種特定製品ごとに冷媒漏えい点検記録簿を作成し提出(電子データ共)すること。	※要(※2部 ○( )部) ○不要 建築管理者への保守に関する説明 ※要 ○不要 「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」にある第1種特定製品を設置改修しきはフロンの回収、充填等を行う場合は、第1種特定製品ごとに冷媒漏えい点検記録簿を作成し提出(電子データ共)すること。																																																																																																																																																																																																															
著作権・使用権等	当該建物において取得する、施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。	当該建物において取得する、施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。																																																																																																																																																																																																															
工事用電力・水・ガス等	本工事に必要な工事用電力・水・ガス等の使用料及び諸手続などの費用は、すべて受注者の負担とする。	本工事に必要な工事用電力・水・ガス等の使用料及び諸手續などの費用は、すべて受注者の負担とする。																																																																																																																																																																																																															
官公署その他への届出手続き等	本工事に必要な関係法令等に基づき官公署その他の関係機関への必要な届出手続き等を達成なく行い、手続と費用は受注者の負担とする。	本工事に必要な関係法令等に基づき官公署その他の関係機関への必要な届出手手続き等を達成なく行い、手続と費用は受注者の負担とする。																																																																																																																																																																																																															
特定元方事業者の指名	※特定元方事業者の等の講ずべき措置については、別途契約の建築工事受注者を労働安全衛生法第30条第2項に基づき指名するので、当該特定元方事業者の措置する事項に協力すること。 ●労働安全衛生法第30条第2項に基づき、本工事の受注者を同法第30条第1項に規定する措置を講ずべきものとする。	※特定元方事業者の等の講ずべき措置については、別途契約の建築工事受注者を労働安全衛生法第30条第2項に基づき指名するので、当該特定元方事業者の措置する事項に協力すること。 ●労働安全衛生法第30条第2項に基づき、本工事の受注者を同法第30条第1項に規定する措置を講ずべきものとする。																																																																																																																																																																																																															
受注者事務所等の設置 (② 4. 1. 1)	構内につくることが 残できる ●できない	構内につくることが 残できる ●できない																																																																																																																																																																																																															
地工事との取合い (① 1. 1. 7)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工事内容</th> <th>本工事</th> <th>建築工事</th> <th>電気工事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>梁、床、壁貫通スリーブ入れ(補強鉄筋共)</td> <td>○</td> <td>※</td> <td></td> </tr> <tr> <td>床、壁貫通部の型替(補強鉄筋共)</td> <td>○</td> <td>※</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>施工後の修正はつり及び穴埋め</td> <td>※</td> <td>○</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>機器のコンクリート基礎</td> <td>屋内設備</td> <td>○</td> <td>※</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>屋上設備</td> <td>○</td> <td>※</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>屋外設備</td> <td>○</td> <td>※</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>機器の架台及びアンカーボルト</td> <td></td> <td>※</td> <td>○</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>防護シールによる養生</td> <td></td> <td>○</td> <td>※</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>(本工事による場合)※メッシュシート ○( )</td> <td></td> <td>○</td> <td>※</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>大井開口及び天井無縫口(下地の補強共)</td> <td>○</td> <td>※</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>外気取り入れガリラ</td> <td>○</td> <td>※</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>パッケージ形空気調和機の次回配管記録及び接地</td> <td>※</td> <td>—</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>、操作スイッチ及び渡り配管記録</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>換気扇の取付栓</td> <td>○</td> <td>※</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>中央監視盤の接地工事</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>機器付属の制御盤への配管記録</td> <td>※</td> <td>—</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>自動制御盤への電源供給及び操作回路の渡り配管記録</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>天井吊形ファンコイルユニット及び全熱交換形換気扇と操作スイッチとの渡り配管記録及び接地</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>煙感知器から制御盤を経て防煙ダンバーまでの配管記録</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>排煙口と操作箱の渡り配管</td> <td>※</td> <td>—</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>雷撃棒及び電線帶</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>衛生器具具取付補強板</td> <td>○</td> <td>※</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小便器用節水装置の制御盤より小便器への配管記録</td> <td>※</td> <td>—</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	工事内容	本工事	建築工事	電気工事	梁、床、壁貫通スリーブ入れ(補強鉄筋共)	○	※		床、壁貫通部の型替(補強鉄筋共)	○	※	○	施工後の修正はつり及び穴埋め	※	○	※	機器のコンクリート基礎	屋内設備	○	※	○		屋上設備	○	※	○		屋外設備	○	※	○	機器の架台及びアンカーボルト		※	○	※	防護シールによる養生		○	※	○	(本工事による場合)※メッシュシート ○( )		○	※	○	大井開口及び天井無縫口(下地の補強共)	○	※	○	外気取り入れガリラ	○	※	—	パッケージ形空気調和機の次回配管記録及び接地	※	—	○	、操作スイッチ及び渡り配管記録				換気扇の取付栓	○	※	○	中央監視盤の接地工事	○	—	※	機器付属の制御盤への配管記録	※	—	○	自動制御盤への電源供給及び操作回路の渡り配管記録	○	—	※	天井吊形ファンコイルユニット及び全熱交換形換気扇と操作スイッチとの渡り配管記録及び接地	○	—	※	煙感知器から制御盤を経て防煙ダンバーまでの配管記録	○	—	※	排煙口と操作箱の渡り配管	※	—	○	雷撃棒及び電線帶	○	—	※	衛生器具具取付補強板	○	※		小便器用節水装置の制御盤より小便器への配管記録	※	—	○	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工事内容</th> <th>本工事</th> <th>建築工事</th> <th>電気工事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>梁、床、壁貫通スリーブ入れ(補強鉄筋共)</td> <td>○</td> <td>※</td> <td></td> </tr> <tr> <td>床、壁貫通部の型替(補強鉄筋共)</td> <td>○</td> <td>※</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>施工後の修正はつり及び穴埋め</td> <td>※</td> <td>○</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>機器のコンクリート基礎</td> <td>屋内設備</td> <td>○</td> <td>※</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>屋上設備</td> <td>○</td> <td>※</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>屋外設備</td> <td>○</td> <td>※</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>機器の架台及びアンカーボルト</td> <td></td> <td>※</td> <td>○</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>防護シールによる養生</td> <td></td> <td>○</td> <td>※</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>(本工事による場合)※メッシュシート ○( )</td> <td></td> <td>○</td> <td>※</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>大井開口及び天井無縫口(下地の補強共)</td> <td>○</td> <td>※</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>外気取り入れガリラ</td> <td>○</td> <td>※</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>パッケージ形空気調和機の次回配管記録及び接地</td> <td>※</td> <td>—</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>、操作スイッチ及び渡り配管記録</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>換気扇の取付栓</td> <td>○</td> <td>※</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>中央監視盤の接地工事</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>機器付属の制御盤への配管記録</td> <td>※</td> <td>—</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>自動制御盤への電源供給及び操作回路の渡り配管記録</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>天井吊形ファンコイルユニット及び全熱交換形換気扇と操作スイッチとの渡り配管記録及び接地</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>煙感知器から制御盤を経て防煙ダンバーまでの配管記録</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>排煙口と操作箱の渡り配管</td> <td>※</td> <td>—</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>雷撃棒及び電線帶</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>衛生器具具取付補強板</td> <td>○</td> <td>※</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小便器用節水装置の制御盤より小便器への配管記録</td> <td>※</td> <td>—</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>				工事内容	本工事	建築工事	電気工事	梁、床、壁貫通スリーブ入れ(補強鉄筋共)	○	※		床、壁貫通部の型替(補強鉄筋共)	○	※	○	施工後の修正はつり及び穴埋め	※	○	※	機器のコンクリート基礎	屋内設備	○	※	○		屋上設備	○	※	○		屋外設備	○	※	○	機器の架台及びアンカーボルト		※	○	※	防護シールによる養生		○	※	○	(本工事による場合)※メッシュシート ○( )		○	※	○	大井開口及び天井無縫口(下地の補強共)	○	※	○	外気取り入れガリラ	○	※	—	パッケージ形空気調和機の次回配管記録及び接地	※	—	○	、操作スイッチ及び渡り配管記録				換気扇の取付栓	○	※	○	中央監視盤の接地工事	○	—	※	機器付属の制御盤への配管記録	※	—	○	自動制御盤への電源供給及び操作回路の渡り配管記録	○	—	※	天井吊形ファンコイルユニット及び全熱交換形換気扇と操作スイッチとの渡り配管記録及び接地	○	—	※	煙感知器から制御盤を経て防煙ダンバーまでの配管記録	○	—	※	排煙口と操作箱の渡り配管	※	—	○	雷撃棒及び電線帶	○	—	※	衛生器具具取付補強板	○	※		小便器用節水装置の制御盤より小便器への配管記録	※	—	○
工事内容	本工事	建築工事	電気工事																																																																																																																																																																																																														
梁、床、壁貫通スリーブ入れ(補強鉄筋共)	○	※																																																																																																																																																																																																															
床、壁貫通部の型替(補強鉄筋共)	○	※	○																																																																																																																																																																																																														
施工後の修正はつり及び穴埋め	※	○	※																																																																																																																																																																																																														
機器のコンクリート基礎	屋内設備	○	※	○																																																																																																																																																																																																													
	屋上設備	○	※	○																																																																																																																																																																																																													
	屋外設備	○	※	○																																																																																																																																																																																																													
機器の架台及びアンカーボルト		※	○	※																																																																																																																																																																																																													
防護シールによる養生		○	※	○																																																																																																																																																																																																													
(本工事による場合)※メッシュシート ○( )		○	※	○																																																																																																																																																																																																													
大井開口及び天井無縫口(下地の補強共)	○	※	○																																																																																																																																																																																																														
外気取り入れガリラ	○	※	—																																																																																																																																																																																																														
パッケージ形空気調和機の次回配管記録及び接地	※	—	○																																																																																																																																																																																																														
、操作スイッチ及び渡り配管記録																																																																																																																																																																																																																	
換気扇の取付栓	○	※	○																																																																																																																																																																																																														
中央監視盤の接地工事	○	—	※																																																																																																																																																																																																														
機器付属の制御盤への配管記録	※	—	○																																																																																																																																																																																																														
自動制御盤への電源供給及び操作回路の渡り配管記録	○	—	※																																																																																																																																																																																																														
天井吊形ファンコイルユニット及び全熱交換形換気扇と操作スイッチとの渡り配管記録及び接地	○	—	※																																																																																																																																																																																																														
煙感知器から制御盤を経て防煙ダンバーまでの配管記録	○	—	※																																																																																																																																																																																																														
排煙口と操作箱の渡り配管	※	—	○																																																																																																																																																																																																														
雷撃棒及び電線帶	○	—	※																																																																																																																																																																																																														
衛生器具具取付補強板	○	※																																																																																																																																																																																																															
小便器用節水装置の制御盤より小便器への配管記録	※	—	○																																																																																																																																																																																																														
工事内容	本工事	建築工事	電気工事																																																																																																																																																																																																														
梁、床、壁貫通スリーブ入れ(補強鉄筋共)	○	※																																																																																																																																																																																																															
床、壁貫通部の型替(補強鉄筋共)	○	※	○																																																																																																																																																																																																														
施工後の修正はつり及び穴埋め	※	○	※																																																																																																																																																																																																														
機器のコンクリート基礎	屋内設備	○	※	○																																																																																																																																																																																																													
	屋上設備	○	※	○																																																																																																																																																																																																													
	屋外設備	○	※	○																																																																																																																																																																																																													
機器の架台及びアンカーボルト		※	○	※																																																																																																																																																																																																													
防護シールによる養生		○	※	○																																																																																																																																																																																																													
(本工事による場合)※メッシュシート ○( )		○	※	○																																																																																																																																																																																																													
大井開口及び天井無縫口(下地の補強共)	○	※	○																																																																																																																																																																																																														
外気取り入れガリラ	○	※	—																																																																																																																																																																																																														
パッケージ形空気調和機の次回配管記録及び接地	※	—	○																																																																																																																																																																																																														
、操作スイッチ及び渡り配管記録																																																																																																																																																																																																																	
換気扇の取付栓	○	※	○																																																																																																																																																																																																														
中央監視盤の接地工事	○	—	※																																																																																																																																																																																																														
機器付属の制御盤への配管記録	※	—	○																																																																																																																																																																																																														
自動制御盤への電源供給及び操作回路の渡り配管記録	○	—	※																																																																																																																																																																																																														
天井吊形ファンコイルユニット及び全熱交換形換気扇と操作スイッチとの渡り配管記録及び接地	○	—	※																																																																																																																																																																																																														
煙感知器から制御盤を経て防煙ダンバーまでの配管記録	○	—	※																																																																																																																																																																																																														
排煙口と操作箱の渡り配管	※	—	○																																																																																																																																																																																																														
雷撃棒及び電線帶	○	—	※																																																																																																																																																																																																														
衛生器具具取付補強板	○	※																																																																																																																																																																																																															
小便器用節水装置の制御盤より小便器への配管記録	※	—	○																																																																																																																																																																																																														
足場 (改① 2. 2. 1)	※別途工事 ●本工事 (前面特記箇所) 外部足場 品種 ※ A種: 構組足場 ○B種: くさり緊結式足場 ○C種: 単管本足場 ○D種: 仮設ゴンドラ ○E種: 移動式足場 ○F種: 高所作業車 1) 足場は、労働安全衛生法その他の関係法令等に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保管管理を行なうこと。 2) 足場を設ける場合には、「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省 平成21年4月)の手すり先行工法等に関するガイドラインによるものとし、足場の組立、解体作業時及び使用時には、常時、すべての作業床について手すり、さん及び幅木の機能を有するものを設置すること。 3) 構組足場及びくさり緊結式足場の設置においては、「手すり先行工法による足場組立等に関する基準」における(2) (2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行なうこと。 4) 外部足場の壁つなぎ材の施工は、撤去後、補修が少ない位置で各階毎に設けるものとし、壁つなぎ材を撤去した後、現状に復する。 5) メッシュ状養生シート(JIS1類)による養生を行なうこと。 6) 足場で使用する工具等には、原則として転落防止用ワイヤー等を取り付けて使用すること。 7) 仮設足場周辺にはネットフェンス、バリケード、標識ロープ等により立ち入りがない様にし、「きけん」、「立て禁止」等の掲示を行なうこと。 防護棚 ※前面特記箇所(地盤面から足場上部までの高さが10mを超える場合) ○不要 1) 防護棚が敷地境界線を越える場合には関係各署と打合せの上、届出を行なうこと	※別途工事 ●本工事 (前面特記箇所) 外部足場 品種 ※ A種: 構組足場 ○B種: くさり緊結式足場 ○C種: 単管本足場 ○D種: 仮設ゴンドラ ○E種: 移動式足場 ○F種: 高所作業車 1) 足場は、労働安全衛生法その他の関係法令等に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保管管理を行なうこと。 2) 足場を設ける場合には、「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省 平成21年4月)の手すり先行工法等に関するガイドラインによるものとし、足場の組立、解体作業時及び使用時には、常時、すべての作業床について手すり、さん及び幅木の機能を有するものを設置すること。 3) 構組足場及びくさり緊結式足場の設置においては、「手すり先行工法による足場組立等に関する基準」における(2) (2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行なうこと。 4) 外部足場の壁つなぎ材の施工は、撤去後、補修が少ない位置で各階毎に設けるものとし、壁つなぎ材を撤去した後、現状に復する。 5) メッシュ状養生シート(JIS1類)による養生を行なうこと。 6) 足場で使用する工具等には、原則として転落防止用ワイヤー等を取り付けて使用すること。 7) 仮設足場周辺にはネットフェンス、バリケード、標識ロープ等により立ち入りがない様にし、「きけん」、「立て禁止」等の掲示を行なうこと。 防護棚 ※前面特記箇所(地盤面から足場上部までの高さが10mを超える場合) ○不要 1) 防護棚が敷地境界線を越える場合には関係各署と打合せの上、届出を行なうこと																																																																																																																																																																																																															
墜落制止用器具の使用 (フルハーネス型)	【墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン】による (平成30年6月22日付け基発0622第2号)	【墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン】による (平成30年6月22日付け基発0622第2号)																																																																																																																																																																																																															
保守工具等	※要 ○不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th>要否</th> <th>物品名</th> <th>数量</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 制水弁キー</td> <td></td> <td>1</td> <td>個</td> </tr> <tr> <td>○ 掃除口閉鎖キー</td> <td></td> <td>1</td> <td>個</td> </tr> <tr> <td>○ 小口径樹脂閉鎖ハンドル</td> <td></td> <td>1</td> <td>個</td> </tr> <tr> <td>○ 水槽類の鍵 (3個/組)</td> <td></td> <td>1</td> <td>組</td> </tr> <tr> <td>○ 吹き出し口類調整キー</td> <td></td> <td>1</td> <td>組</td> </tr> <tr> <td>○ 機器類保証書・取扱説明書</td> <td></td> <td>1</td> <td>式</td> </tr> <tr> <td>○ 機器類完成図</td> <td></td> <td>1</td> <td>式</td> </tr> <tr> <td>※ 冷媒漏えい点検記録簿 (電子データ共)</td> <td></td> <td>1</td> <td>式</td> </tr> </tbody> </table>	要否	物品名	数量	単位	○ 制水弁キー		1	個	○ 掃除口閉鎖キー		1	個	○ 小口径樹脂閉鎖ハンドル		1	個	○ 水槽類の鍵 (3個/組)		1	組	○ 吹き出し口類調整キー		1	組	○ 機器類保証書・取扱説明書		1	式	○ 機器類完成図		1	式	※ 冷媒漏えい点検記録簿 (電子データ共)		1	式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>要否</th> <th>物品名</th> <th>数量</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 制水弁キー</td> <td></td> <td>1</td> <td>個</td> </tr> <tr> <td>○ 掫除口閉鎖キー</td> <td></td> <td>1</td> <td>個</td> </tr> <tr> <td>○ 小口径樹脂閉鎖ハンドル</td> <td></td> <td>1</td> <td>個</td> </tr> <tr> <td>○ 水槽類の鍵 (3個/組)</td> <td></td> <td>1</td> <td>組</td> </tr> <tr> <td>○ 吹き出し口類調整キー</td> <td></td> <td>1</td> <td>組</td> </tr> <tr> <td>○ 機器類保証書・取扱説明書</td> <td></td> <td>1</td> <td>式</td> </tr> <tr> <td>○ 機器類完成図</td> <td></td> <td>1</td> <td>式</td> </tr> <tr> <td>※ 冷媒漏えい点検記録簿 (電子データ共)</td> <td></td> <td>1</td> <td>式</td> </tr> </tbody> </table>				要否	物品名	数量	単位	○ 制水弁キー		1	個	○ 掫除口閉鎖キー		1	個	○ 小口径樹脂閉鎖ハンドル		1	個	○ 水槽類の鍵 (3個/組)		1	組	○ 吹き出し口類調整キー		1	組	○ 機器類保証書・取扱説明書		1	式	○ 機器類完成図		1	式	※ 冷媒漏えい点検記録簿 (電子データ共)		1	式																																																																																																																																				
要否	物品名	数量	単位																																																																																																																																																																																																														
○ 制水弁キー		1	個																																																																																																																																																																																																														
○ 掃除口閉鎖キー		1	個																																																																																																																																																																																																														
○ 小口径樹脂閉鎖ハンドル		1	個																																																																																																																																																																																																														
○ 水槽類の鍵 (3個/組)		1	組																																																																																																																																																																																																														
○ 吹き出し口類調整キー		1	組																																																																																																																																																																																																														
○ 機器類保証書・取扱説明書		1	式																																																																																																																																																																																																														
○ 機器類完成図		1	式																																																																																																																																																																																																														
※ 冷媒漏えい点検記録簿 (電子データ共)		1	式																																																																																																																																																																																																														
要否	物品名	数量	単位																																																																																																																																																																																																														
○ 制水弁キー		1	個																																																																																																																																																																																																														
○ 掫除口閉鎖キー		1	個																																																																																																																																																																																																														
○ 小口径樹脂閉鎖ハンドル		1	個																																																																																																																																																																																																														
○ 水槽類の鍵 (3個/組)		1	組																																																																																																																																																																																																														
○ 吹き出し口類調整キー		1	組																																																																																																																																																																																																														
○ 機器類保証書・取扱説明書		1	式																																																																																																																																																																																																														
○ 機器類完成図		1	式																																																																																																																																																																																																														
※ 冷媒漏えい点検記録簿 (電子データ共)		1	式																																																																																																																																																																																																														
総合調整 (② 1. 3. 2)	※要 ●風量調整 ○水量調整(冷温水) ●室内外空気の温度湿度測定 ○室内外気流及びじんわりの測定 ○騒音の測定 ○不要	※要 ●風量調整 ○水量調整(冷温水) ●室内外空気の温度湿度測定 ○室内外気流及びじんわりの測定 ○騒音の測定 ○不要																																																																																																																																																																																																															
一般用弁及び栓 (② 2. 2. 1)	1 揚程 5.0m未満のポンプ廻りに取り付ける弁類(逆止弁は除く)及び大気開放形のタンク類の排水に使用する弁は、J IS 5k又JV 5kとする。 2 給水装置に使用する弁は、J IS 10k又JV 10kとする。	1 揚程 5.0m未満のポンプ廻りに取り付ける弁類(逆止弁は除く)及び大気開放形のタンク類の排水に使用する弁は、J IS 5k又JV 5kとする。 2 給水装置に使用する弁は、J IS 10k又JV 10kとする。																																																																																																																																																																																																															
伸縮管継手 (② 2. 2. 7)	鋼管用伸縮継手は下記による。 ※ペローズ形 ○スリーブ形	鋼管用伸縮継手は下記による。 ※ペローズ形 ○スリーブ形																																																																																																																																																																																																															
瞬間流量計 (② 2. 3. 8)	ピトー管式とし、取り付け場所・型式は下記による。 ※冷凍機・冷温水機の冷水・冷温水配管 ※着脱式 ○固定式 ※冷凍機・冷温水機の冷却水配管 ※着脱式 ○固定式 ※ユニット型空気調和機・コンパクト型空気調和機の冷温水配管 ※着脱式 ○固定式 ※冷温水ヘッダーの各送り管 ※着脱式 ○固定式 ※冷温水ヘッダーの各返り管 ※着脱式 ○固定式 着脱式の場合は、指示部を(※1個 ○ ( )個)備える。	ピトー管式とし、取り付け場所・型式は下記による。 ※冷凍機・冷温水機の冷水・冷温水配管 ※着脱式 ○固定式 ※冷凍機・冷温水機の冷却水配管 ※着脱式 ○固定式 ※ユニット型空気調和機・コンパクト型空気調和機の冷温水配管 ※着脱式 ○固定式 ※冷温水ヘッダーの各送り管 ※着脱式 ○固定式 ※冷温水ヘッダーの各返り管 ※着脱式 ○固定式 着脱式の場合は、指示部を(※1個 ○ ( )個)備える。																																																																																																																																																																																																															
溶接接合 (② 2. 5. 16)	溶接部の非破壊検査については、 ※適用しない ○適用する (○放射線透過検査 ○浸透探傷検査または磁粉探傷検査)	溶接部の非破壊検査については、 ※適用しない ○適用する (○放射線透过検査 ○浸透探傷検査または磁粉探傷検査)																																																																																																																																																																																																															

項目		特記事項																																	
耐震措置 (③.2.1.1) (⑤.2.2.1) (②.2.6.1)		1 耐震措置の計算及び施工方法は、「標準仕様書」、「標準図」及び図示以外は、「建築設備耐震設計・施工指針(国土交通省国土技術政策総合研究所、独立行政法人建築研究所監修 2014年版)」による。 2 当該建物の耐震安全性の分類は(※特定の施設 ○一般の施設 )とする。 3 下記の設計用水平震度及び鉛直震度により、据付ボルト・アンカーボルトなどの耐震性能を確認し、監督職員の承諾を受ける。																																	
共通事項		(1) 設計用水平震度																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>一般水槽</th><th>重要水槽</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層階・屋上・塔屋</td><td>1.5</td><td>2.0</td><td>1.5(2.0)</td><td>2.0(2.0)</td></tr> <tr> <td>中間階</td><td>1.0</td><td>1.5</td><td>1.0(1.5)</td><td>1.5(1.5)</td></tr> <tr> <td>1階・地下階</td><td>1.0</td><td>1.5</td><td>0.6(1.0)</td><td>1.0(1.0)</td></tr> </tbody> </table>						一般水槽	重要水槽	一般機器	重要機器	上層階・屋上・塔屋	1.5	2.0	1.5(2.0)	2.0(2.0)	中間階	1.0	1.5	1.0(1.5)	1.5(1.5)	1階・地下階	1.0	1.5	0.6(1.0)	1.0(1.0)									
	一般水槽	重要水槽	一般機器	重要機器																															
上層階・屋上・塔屋	1.5	2.0	1.5(2.0)	2.0(2.0)																															
中間階	1.0	1.5	1.0(1.5)	1.5(1.5)																															
1階・地下階	1.0	1.5	0.6(1.0)	1.0(1.0)																															
		<p>(注) ( ) 内の数値は、防振支持の機器の場合を示す。          上層階・中間階の定義は次のとおりとする。          ・上層階：2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建は上層3階、13階建以上のは上層4階。          ・中間階：地下階及び階を除く階、上階層に該当しない階。          なお、重要機器は、下記に示すものとする。          (受水槽、消防水槽、 )          (2) 鉛直震度は、設計用水平震度の1／2とする。          (3) 機器通り配管は「標準仕様書」(②.2.6.1)によること。</p>																																	
あと施工アンカー確認試験改(⑤.2.3.)		※適用しない。 <input checked="" type="checkbox"/> 摘要する ( <input type="radio"/> 性能確認試験 <input type="radio"/> 施工後確認試験 ) 試験箇所 ( )																																	
機器類の能力、容量等の表示		機器類の能力、容量等はメーカー別による些少の相違は認められる。																																	
はつり及び穴開け		既存のコンクリート床・壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用することとし、作業前に鉄筋の探査を行うこと。なお、復旧はモルタル補修とする。また、いかなる場合においても柱・梁のはつり及び貫通は行なってはならない。																																	
公共工事労務費調査への協力について		<p>1 本工事が本市の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合、受注者は、調査票等に必要事項を正確に記して本市に提出する等、必要な協力を行なわなければならない。          また、本工事の工期経過後についても、同様とする。</p> <p>2 調査票を提出した事業所を本市が事後に、訪問して行なう調査・指導の対象に受注者がなった場合、受注者は、その実施に協力しなければならない。          また、本工事の工期経過後についても、同様とする。</p> <p>3 公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票の提出が行なえるよう受注者は、労働基準法等に従って就業規則を作成すると共に賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行なっておかなければならぬ。</p> <p>4 受注者が本工事の一部について下請け契約を締結する場合には、受注者は、当該下請け工事の受注者(当該下請け工事の一部にかかる二次以降の下請負入を含む)が1から3項と同様の義務を負う旨を定めなければならぬ。</p>																																	
設計時の温湿度条件		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">場所</th><th colspan="2">屋外</th><th colspan="4">屋内(調整目標値)</th></tr> <tr> <th>一般事務室</th><th>温度(°C)</th><th>湿度(RH)</th><th>温度(°C)</th><th>湿度(RH)</th><th>温度(°C)</th><th>湿度(RH)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>冬季</td><td>2.0°C</td><td>57.9%</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td></tr> <tr> <td>夏季</td><td>35.4°C</td><td>49.0%</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td></tr> </tbody> </table>						場所	屋外		屋内(調整目標値)				一般事務室	温度(°C)	湿度(RH)	温度(°C)	湿度(RH)	温度(°C)	湿度(RH)	冬季	2.0°C	57.9%	℃	%	℃	%	夏季	35.4°C	49.0%	℃	%	℃	%
場所	屋外		屋内(調整目標値)																																
	一般事務室	温度(°C)	湿度(RH)	温度(°C)	湿度(RH)	温度(°C)	湿度(RH)																												
冬季	2.0°C	57.9%	℃	%	℃	%																													
夏季	35.4°C	49.0%	℃	%	℃	%																													
煙道(③.1.1.9)		<p>1 材質          ※鋼板製 <input checked="" type="checkbox"/> ステンレス鋼板製(SUS304・板厚は図示による)          2 ばいじん量測定口          煙道は80φ以上のフランジ付の測定口を設ける。</p>																																	
開放形膨脹タンク(③.1.13.5)		※鋼板製 <input checked="" type="checkbox"/> ステンレス鋼板製(SUS304)																																	
ダクトの種別(③.1.14.1)		<p>1 空気調和用ダクト          ※低圧ダクト <input checked="" type="checkbox"/> 高圧1ダクト <input checked="" type="checkbox"/> 高圧2ダクト          2 換気用ダクト          ※低圧ダクト <input checked="" type="checkbox"/> 高圧1ダクト <input checked="" type="checkbox"/> 高圧2ダクト</p>																																	
グリス除去装置(③.1.14.8)		グリスフィルター予備 <input checked="" type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 要																																	
排煙口(③.1.15.5)		<p>1 排煙口の作動 <input type="checkbox"/> 手動 (<input type="checkbox"/> 機械式 <input type="checkbox"/> 電気式) <input checked="" type="checkbox"/> 煙感知器連動          2 復帰装置 <input type="checkbox"/> 手元復帰式 (<input type="checkbox"/> 機械式 <input type="checkbox"/> 電気式) <input type="checkbox"/> 遠方復帰式</p>																																	
防煙ダンパー(③.1.15.8)		※遠隔復帰式 <input type="checkbox"/> 手動復帰式																																	
防火防煙ダンパー(③.1.15.9)		※遠隔復帰式 <input type="checkbox"/> 手動復帰式																																	
定風量ユニット・変風量ユニット(③.1.15.13～14)		○メカニカル形 ○風速センサー形																																	
空気調和設備工事	ダクトの工法(③.2.2.1)	<p>1 空気調和用ダクト          ※アングルフランジ工法          ※コーナーボルト工法(適用範囲は標準仕様書による)          ((※共板フランジ工法 <input checked="" type="checkbox"/> オスライドオンフランジ工法))          2 換気用ダクト          ※アングルフランジ工法          ※コーナーボルト工法(適用範囲は標準仕様書による)          ((※共板フランジ工法 <input checked="" type="checkbox"/> オスライドオンフランジ工法))</p>																																	
ダクトの板厚(③.2.2.2)		<p>厨房排気ダクトの材質及び板厚は下記による。          ○垂鉄板製 <input checked="" type="checkbox"/> ステンレス鋼板製</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ダクトの長辺</th><th colspan="2">板厚</th></tr> <tr> <th>垂鉄板製</th><th>ステンレス鋼板製</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>450mm以下</td><td>0.6mm</td><td>0.5mm</td></tr> <tr> <td>450mmを超える、1,200mm以下</td><td>0.8mm</td><td>0.6mm</td></tr> <tr> <td>1,200mmを超える、1,800mm以下</td><td>1.0mm</td><td>0.8mm</td></tr> <tr> <td>1,800mmを超えるもの</td><td>1.2mm</td><td>0.8mm</td></tr> </tbody> </table>						ダクトの長辺	板厚		垂鉄板製	ステンレス鋼板製	450mm以下	0.6mm	0.5mm	450mmを超える、1,200mm以下	0.8mm	0.6mm	1,200mmを超える、1,800mm以下	1.0mm	0.8mm	1,800mmを超えるもの	1.2mm	0.8mm											
ダクトの長辺	板厚																																		
	垂鉄板製	ステンレス鋼板製																																	
450mm以下	0.6mm	0.5mm																																	
450mmを超える、1,200mm以下	0.8mm	0.6mm																																	
1,200mmを超える、1,800mm以下	1.0mm	0.8mm																																	
1,800mmを超えるもの	1.2mm	0.8mm																																	
風量測定口の取付位置(③.2.2.7.3)		※ユニット形空気調和機及びコンパクト形空気調和機に接続するダクト ○( )																																	
予備フィルター		<ul style="list-style-type: none"> <li>●バッケージ形空気調和機 (&lt;※100% ○ %)</li> <li>○ユニット形空気調和機 (&lt;※100% ○ %)</li> <li>○ファンコイルユニット (&lt;※100% ○ %)</li> <li>○空気清浄装置用エアフィルター (&lt;※100% ○ %)</li> <li>●全熱交換ユニット(エアメントは除く) (&lt;※100% ○ %)</li> </ul>																																	
シックハウス対策		換気扇、天井埋込み換気扇のスイッチ上部に「24時間換気」と記したシールを貼り付けること。																																	
自動制御工事	電線及び電線管(④.2.3.1)	<p>1 本工事において使用する電線類は原則としてEM電線・EMケーブルとする。          特記なき電線管は、PF管(合成樹脂製可とう電線管)の単層管とし隠蔽配管及びコンクリート打ち込み配管に使用する。          3 PF管で配管する場合の配線取出し口は、ボックスを使用する。</p>																																	

設計書(図面) AM-01 【誤】

設計書（図面） AM-01【譲】

設計	大阪市水道局 工務部 設備課（機械）	令和6年度
工事名称	もと境川営業所空気調和設備取替工事	
図名	機械設備工事特記仕様書（1）	
尺度	S=1/100 図面サイズ 枚数番号	AM-01

## 機械設備工事特記仕様書

1. 共通仕様

(1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は国土交通省大臣官房宮庁総務部監修の公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版(以下「標準仕様書」という。)、公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版(以下「改修標準仕様書」という。)及び公共建築設備工事標準規格(機械設備工事編)令和4年版(以下「標準規格」という。)による。

(2) 工事種目に電気設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様はそれぞれの工事仕様書を適用する。

2. 特記仕様

(1) 各項目の①①. 1. 2. は「標準仕様書」第1編、第1章、第1節、2項、(改①. 1. 2.)は、「改修標準仕様書」第1編、第1章、第1節、2項、と関連することを示す。

(2) 特記事項は、●印がついたものを本工事に適用する。ただし●印のない場合は※印を適用する。

(3) 図面に記載された品名・品番等については、品質・形状の程度を示すものであり、使用にあたっては、「標準仕様書」(①. 4. 2.)の項に基づくものとする。

編	項 目	特 記 事 項
	工事上の注意事項	1. 本工事の施工にあたっては、施設管理業者と充分に打合せをおこなう。 2. 既設建物及び設備等に損害を与えないように注意し、万が一損傷した場合は速やかに原形復旧を行う。
	ガス設備工事の施工	本工事に含むガス設備工事の施工は、ガス事業法に基づくものとする。
	監督員 (①. 1. 1. 2)	工事請負契約書に規定する本市監督職員及び本市より工事監理委託を受けた者とする。
	工事実績情報の登録 (①. 1. 4)	契約金額(変更含む)が5000万円(税込み)以上の工事について、(財)日本建築情報総合センターによるコリズンズ登録を次に示す期間内に行うこと。 (1)工事受注時 契約締結後 10日以内 (2)登録内容の変更時 変更契約締結後 10日以内 (3)工事完成時 工事完成後 10日以内  上記期間には、土曜日、日曜日、祝日は含まない。変更時と工事完成時の間が、10日満たない場合には、変更時の提出を省略できるものとする。
	書面の書式及び取扱い (①. 1. 5)	1. 水道施設工事共通様式(大阪市水道局)によるほか、本市監督職員の指示等による。 2. 標準仕様書①. 1. 5(2)は、監督員が認める場合を除き適用しない。
	電気保安技術者 (①. 1. 3. 2)	※適用する ○通用しない
	建設リサイクル等 (①. 1. 3. 9)	1. 受注者は、工事の施工に当たって、「大阪市建設リサイクルガイドライン」(平成30年5月)の記載事項を遵守して、建設副産物の適正な処理及び再生資源の活用を図らなければならぬ。 なお、本ガイドラインは、大阪市建設局ホームページを参照すること。 (掲載場所) トップページ>産業・ビジネス>入札契約情報>各局等入札契約情報>建設局>入札・契約のお知らせ 2. 請負金額(設計変更含む)が100万円(税込み)以上の工事について、再生資源利用計画書(実施書)、再生資源利用促進計画書(実施書)の作成を建設リサイクルガイドラインに基づき行い、電子データを監督職員まで提出する。
	機器類の確認について	本工事で使用する機器類については、設計図書に定められた使用や能力を確実に満たすことができるよう、施工前・施工圖等を用いて総合的な確認を受注者にて行う。
	建築機械設備工事の使用機器類の選定について (①. 1. 4. 2)	本工事で使用する機器及び材料(以下「機器」という)は、JIS又はこれら公的機関に準るる関係機関の規格品、認定品とする。また、別表「工事用象機器材一覧表(機械設備工事)」に該当する場合は次のいずれかの条件を満たすものによる。 (1)直近の、建築材料・設備機器の品質性能評価事業「社(公共建築協会)により評価を受けた機材で、納品(工事)場所に納入が可能と記載されている。 (2)大阪市との工事において納入実績のある機器・製造者を示す場合はその製造品 (3)図中に「ダーリング遵守適合品」と記載のあるものは、「再生物流品等の調達の推進等に関する法律」による特定調達物品とする。 (4)上記(1)～(2)以外の機器は、設計図書に定める品質及び性能が確認できる次表の書類を提出し、本市監督職員の承諾を受ける。

No.	書類名	備考		
1	機器仕様書	設計書に定める品質及び性能が数値等で明記されている資料(汎用品はカタログも可能)		
2	製造者の概要 事務所・営業所等 住所 生産、販売実績 アフターサービス 体制	申請品の生産販売・納入実績(民間・他官公庁)が、別表に示す主要機器材は5年以上、その他の機器材は3年以上の期間が確認できる資料 納品(工事)場所がアフターサービス地区に含まれていることが確認できる資料		
別表				
工事用対象機器材一覧表 (機械設備工事)				
番号	分類	品名		
		適用 主要機器材 その他機器材		
M-A	弁及び継手類	特定設備(消防設備配管、空調冷温水・冷却水配管等)で使用されるもの	◇	◇
M-B	消防装置	消火栓及び器具類 消火ホース 不活性ガス系消火設備 スプリンクラー設備 泡消火設備	◇ ◇ ◇ ◇ ◇	
M-C	ポンプ類	横型渦巻きポンプ 汚水・汚物・排水用水中モーターポンプ 真空給水ポンプ 消火用ポンプ	◇ ◇ ◇ ◇	
M-D	槽並びに 圧力容器	鋼製槽類 FRP製一体形タンク FRP製バニルタンク ステンレス鋼製バニルタンク 圧力容器	◇ ◇ ◇ ◇ ◇	◇
M-E	衛生器具	衛生器具	◇	
M-F	熱源機器	鋼製品ボイラー(煙管式) 鉄製品ボイラー 鋼製温水ボイラー(貫流ボイラーは除く) 真空式温水器(鋼製・鉄製) 熱交換器(円筒多管式) 遠心冷凍機 チリングユニット(往復動式・クリュー式・スクロール式) スクリューコンプレッサー 吸収冷凍機 吸収冷凍機 ガス直打き吸収冷温水器(小型ユニット型を含む) 冷却塔	◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇	
M-G	空調機 並びに送風機類	パッケージ形空気調和機 ユニット形空気調和機 ファンコイルユニット 電気集じん機(ろ材併用) エアフィルター 全熱交換器(回転型) 定・変風量ユニット 吹出口・吸込口 ダンパー 送風機(連心式、離心式、斜流式)	◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇	
M-H	計装制御並びに 計測機器類	計装・制御機器並びに盤(電気式、電子式) 計装・制御機器並びに蓋(空気圧式)	◇ ◇	
M-I	厨房機器類	厨房機器	◇	
M-J	その他	グリスフィルター 水ろ過装置(フルル用(珪藻土式又は砂式))	◇	
・主要機器材：申請品の生産販売・納入実績(民間・他官公庁)が5年ある ・その他機器材：申請品の生産販売・納入実績(民間・他官公庁)が3年ある ・同種類機器類については、原則としてメーカーを統一する				
建物の管理		工事完成後、本市への引渡し手続きが完了するまでは、受注者の責任で管理し、これに 要する費用は受注者間で適正な負担を行なう。		
技能士 (①、⑤、②)	○配管施工 ○建築板金施工	○熱絶縁施工 ○冷凍空気調和機器施工		

編 項 目		特 記 事 項			
化 学 物 質 の濃 度 測 定 (① 1. 5. 8)	○要 (施工前、施工後) ・測定対象化学物質 ( ) ・測定方法 ( ) ・測定対象室 ( ) ・測定箇所 ( ) ※不要	<del>○要 (施工前、施工後) ・測定対象化学物質 ( ) ・測定方法 ( ) ・測定対象室 ( ) ・測定箇所 ( ) ※不要</del>			
完 成 図	※要 ・原図 ※ 1 部(原寸) ・複写図 ※ 2 部(原寸背貼製本) ○( )部(原寸背貼製本) ○( )部(A3縮小背貼製本) ・CADデータ※ 1 部(恒)、CADデータを作成した場合) ○不要	<del>※要 ・原図 ※ 1 部(原寸) ・複写図 ※ 2 部(原寸背貼製本) ○( )部(原寸背貼製本) ・CADデータ※ 1 部(恒)、CADデータを作成した場合) ○不要</del>			
保 全 に 關 する 資 料	※要(※2部 ○( )部) 建築管理者への保守に関する説明 ※要 ○不要 「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」にある第1種特定製品を設 置する場合は、フロンの回収、充填等を行う場合は、第1種特定製品ごとに冷媒漏えい検 査記録簿を作成し提出(電子データ共)すること。	<del>※要(※2部 ○( )部) 建築管理者への保守に関する説明 ※要 ○不要 「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」にある第1種特定製品を設 置する場合は、フロンの回収、充填等を行う場合は、第1種特定製品ごとに冷媒漏えい検 査記録簿を作成し提出(電子データ共)すること。</del>			
著作 権 ・使 用 権 等	当該建物において取得する、施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発 注者に委譲するものとする。	<del>当該建物において取得する、施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発 注者に委譲するものとする。</del>			
工事用電力・水・ガス ・その他	本工事に必要な工事用電力・水・ガス等の使用料及び諸手続などの費用は、すべて受 注者の負担とする。	<del>本工事に必要な工事用電力・水・ガス等の使用料及び諸手続などの費用は、すべて受 注者の負担とする。</del>			
官 公 署 その 他の 届 出 手 續 き 等	本工事に必要な関係法規等に基づく官公署その他の関係機関への必要な届出手続等 遅滞なく行い、手続き費用は受注者の負担とする。	<del>本工事に必要な関係法規等に基づく官公署その他の関係機関への必要な届出手続等 遅滞なく行い、手続き費用は受注者の負担とする。</del>			
特 定 元 方 事 業 者 の 指 名	※特定元方事業者等の講ずべき措置については、別途契約の建築工事受注者を労働安 全衛生法第30条第2項に基づき指名するので、当該特定元方事業者の措置する事項 協力すること。 ●労働安全衛生法第30条第2項に基づき、本工事の受注者を同法第30条第1項に 定める措置を講ずべきものとする。	<del>※特定元方事業者等の講ずべき措置については、別途契約の建築工事受注者を労働安 全衛生法第30条第2項に基づき指名するので、当該特定元方事業者の措置する事項 協力すること。 ●労働安全衛生法第30条第2項に基づき、本工事の受注者を同法第30条第1項に 定める措置を講ずるべきものとする。</del>			
受 注 者 事 務 所 等 の 設 置 (② 4. 1. 1)	構内につくることが 残できる ●できない	<del>構内につくることが 残できる ●できない</del>			
施 工 事 と の 取 合 (① 1. 7)	<del>工 事 内 容</del>				
	本工事 本建築工事 電気工事	<del>本工事 本建築工事 電気工事</del>			
	梁、床、壁貫通スリーブ入れ(補強鉄筋共) 床、壁貫通部の型枠(補強鉄筋共) 施工後の修正はつり及び埋め 機器のコンクリート基礎 機器の架台及びアンカーボルト 防護シートによる養生 (本工事による場合)※リバーシート ○( ) 天井開口及び天井蓋取扱(下地の補強共) 外気取り入れガラリ パッケージ形空気調和機の次回配管配線及び接地 、操作スイッチ及び配管配線 換気扇の取付栓 中央監視盤の接続工事 機器付属の制御盤等の配管配線 機器付属の制御盤等の電源供給配管配線 自動制御盤への電源供給及び操作回路の渡り配管配線 スズ吊形ファンコイルユニット及び全熱交換形換気扇と 操作スイッチの溝へ配管配線及び接地 煙感知器から制御盤へ経て防火ダンパーまでの配管配線 排煙口と操作ボタンの接続配線 電極棒及び電極棒 衛生糞取扱補助板 小便器用節水装置の制御盤より小便器への配管配線	<del>梁、床、壁貫通スリーブ入れ(補強鉄筋共) 床、壁貫通部の型枠(補強鉄筋共) 施工後の修正はつり及び埋め 機器のコンクリート基礎 機器の架台及びアンカーボルト 防護シートによる養生 (本工事による場合)※リバーシート ○( ) 天井開口及び天井蓋取扱(下地の補強共) 外気取り入れガラリ パッケージ形空気調和機の次回配管配線及び接地 、操作スイッチ及び配管配線 換気扇の取付栓 中央監視盤の接続工事 機器付属の制御盤等の配管配線 機器付属の制御盤等の電源供給配管配線 自動制御盤への電源供給及び操作回路の渡り配管配線 スズ吊形ファンコイルユニット及び全熱交換形換気扇と 操作スイッチの溝へ配管配線及び接地 煙感知器から制御盤へ経て防火ダンパーまでの配管配線 排煙口と操作ボタンの接続配線 電極棒及び電極棒 衛生糞取扱補助板 小便器用節水装置の制御盤より小便器への配管配線</del>			
足 場 (改② 2. 1)	※別途工事 ○本工事(平面特記箇所) 外部足場 種別 ○A種:標準足場 ○B種:くびれ脚式足場 ○C種:単脚本足場 ○D種:仮設ゴンドラ ○E種:移動式足場 ○F種:高所作業車 1) 足場は、労働安全衛生法その他の関係法令等に従い適切な材料及び構造のもの とし、適切な保管管理を行なうこと。 2) 足場を設ける場合には、「手すり先行工法に関するガイドライン」について(平 成21年4月)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立、解体作業時及び使用時には、常に、すべての作業床につ いて手すり、まんらん及び幅木の機能を有するものを設置すること。 3) 仮設足場及びくびれ脚式足場の設置においては、「手すり先行工法による足場 組立等に関する基準」における(2)の手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足 方式により行なうこと。 4) 外部足場の壁つなぎ材の施工は、撤去後、補修が少ない位置で各階毎に設ける ものとし、壁つなぎ材を撤去した後、現状に復する。 5) メッシュ状養生シート(JIS1類)による養生を行なうこと。 6) 足場で使用する工具等には、原則として転落防止用ワイヤー等を取り付けて使 用すること。 7) 假設足場周辺にはネットフェンス、バリケード、標識ロープ等により立ち入れ ない様にし、「きげん」、「立入禁止」等の掲示を行なうこと。 防護欄 ※平面特記箇所(床面から足場上部までの高さが10mを超える場合) ○不要	<del>※別途工事 ○本工事(平面特記箇所) 外部足場 種別 ○A種:標準足場 ○B種:くびれ脚式足場 ○C種:単脚本足場 ○D種:仮設ゴンドラ ○E種:移動式足場 ○F種:高所作業車 1) 足場は、労働安全衛生法その他の関係法令等に従い適切な材料及び構造のもの とし、適切な保管管理を行なうこと。 2) 足場を設ける場合には、「手すり先行工法に関するガイドライン」について(平 成21年4月)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立、解体作業時及び使用時には、常に、すべての作業床につ いて手すり、まんらん及び幅木の機能を有するものを設置すること。 3) 仮設足場及びくびれ脚式足場の設置においては、「手すり先行工法による足場 組立等に関する基準」における(2)の手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足 方式により行なうこと。 4) 外部足場の壁つなぎ材の施工は、撤去後、補修が少ない位置で各階毎に設ける ものとし、壁つなぎ材を撤去した後、現状に復する。 5) メッシュ状養生シート(JIS1類)による養生を行なうこと。 6) 足場で使用する工具等には、原則として転落防止用ワイヤー等を取り付けて使 用すること。 7) 假設足場周辺にはネットフェンス、バリケード、標識ロープ等により立ち入れ ない様にし、「きげん」、「立入禁止」等の掲示を行なうこと。 防護欄 ※平面特記箇所(床面から足場上部までの高さが10mを超える場合) ○不要</del>			
墜 落 制 止 用 具 の 使 用 (フルハーネス型)	「墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」による (平成30年6月22日付け基発0622第2号)	<del>「墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」による (平成30年6月22日付け基発0622第2号)</del>			
保 守 工 具 等	※要 ○不要 要否 物品名 数量 単位	<del>※要 ○不要 要否 物品名 数量 単位</del>			
	○ 制水弁キー ○ 揭除口閉鎖キー ○ 小口径樹脂閉鎖ハンドル ○ 水槽類の鍵(3個/組) ○ 吹き出し口類調整キー ○ 機器類保証書・取扱説明書 ○ 機器類完成図 ※ 冷媒漏えい点検記録簿(電子データ共)	<del>○ 制水弁キー ○ 揭除口閉鎖キー ○ 小口径樹脂閉鎖ハンドル ○ 水槽類の鍵(3個/組) ○ 吹き出し口類調整キー ○ 機器類保証書・取扱説明書 ○ 機器類完成図 ※ 冷媒漏えい点検記録簿(電子データ共)</del>			
総 合 調 整 (② 1. 3. 2)	※要 ●風量調整 ○水量調整(冷温水) ○室内空気温度測定 ○騒音の測定 ○不要	<del>※要 ●風量調整 ○水量調整(冷温水) ○室内空気温度測定 ○騒音の測定 ○不要</del>			
一般用弁及び栓 (② 2. 2. 1)	1 揚程50m未満のポンプ廻りに取り付ける弁類(逆止弁は除く)及び大気開放形のタ ンク類の排水に使用する弁は、J I S 5 k又はJ V 5 kとする。 2 給水装置に使用する弁は、J I S 10 k又はJ V 10 kとする。	<del>1 揚程50m未満のポンプ廻りに取り付ける弁類(逆止弁は除く)及び大気開放形のタ ンク類の排水に使用する弁は、J I S 5 k又はJ V 5 kとする。 2 給水装置に使用する弁は、J I S 10 k又はJ V 10 kとする。</del>			
伸 縮 管 継 手 (② 2. 2. 7)	鋼管用伸縮継手は下記による。 ※ベローズ形 ○スリーブ形	<del>鋼管用伸縮継手は下記による。 ※ベローズ形 ○スリーブ形</del>			
瞬 間 流 量 計 (② 2. 3. 8)	ピート一管式とし、取り付け場所・型式は下記による。 ※冷凍機・冷温水機の冷水・冷温水配管 ※冷温水機・冷温水機の冷却水配管 ※ユニット型空気調和機・コンパクト型 空気調和機の冷温水配管 ※冷温水ヘッダーの各送り管 ※冷温水ヘッダーの各返り管 着脱式の場合は、指示部を(※1個 ○( )個)備える。	<del>ピート一管式とし、取り付け場所・型式は下記による。 ※冷凍機・冷温水機の冷水・冷温水配管 ※冷温水機・冷温水機の冷却水配管 ※ユニット型空気調和機・コンパクト型 空気調和機の冷温水配管 ※冷温水ヘッダーの各送り管 ※冷温水ヘッダーの各返り管 着脱式の場合は、指示部を(※1個 ○( )個)備える。</del>			
溶 接 接 合 (② 2. 5. 16)	溶接部の不破壊検査については、 ※適用しない ○適用する (○放射線透過検査 ○浸透探傷検査または磁粉探傷検査)	<del>溶接部の不破壊�査については、 ※適用しない ○適用する (○放射線透過検査 ○浸透探傷検査または磁粉探傷検査)</del>			

編 項 目		特 記 事 項			
地中表示用テープ及び地中埋設標(②. 7. 1)	1 給水管 埋設表示用テープ 2 消火管 埋設表示用テープ 埋設表示用テープは 1.5 0mm とし、折込率はダブルとする。	※要 地中埋設標 ※要 地中埋設標 ※要 地中埋設標	○不要 ○要 ○不要 ○要		
耐圧試験(②. 9. 1 ~ 5)	耐圧試験は次の圧力値により行ない、試験結果報告書を監督職員に提出すること。 配管種別 試験圧力 試験方法 保持時間 ○給水配管(給水装置部) 1.7 5 MPa 水圧試験 1 分以上 ○給水配管(器具取付後) 0.7 5 MPa 水圧試験 6.0 分以上 ○給水配管(ポンプ加圧部) MPa 水圧試験 6.0 分以上 ○給水配管(タンク下がり部) MPa 水圧試験 6.0 分以上 ○給湯配管 MPa 水圧試験 6.0 分以上 ○冷温水配管 MPa 水圧試験 6.0 分以上 ○冷却水配管 MPa 水圧試験 6.0 分以上  ●冷媒配管 ☆ 1 置素ガス による気密試験 24 時間以上  ○消火配管(屋内消火栓) MPa 水圧試験 6.0 分以上 ○消火配管(スプリンクラー) MPa 水圧試験 6.0 分以上 ○消火配管(泡) MPa 水圧試験 6.0 分以上  ○消火配管(不活性ガス) ☆ 2 MPa 空気又は置素ガス による気密試験 10 分以上  ○消火配管(内・外) ☆ 3 MPa 空気又は置素ガス による気密試験 10 分以上  ○消火配管(屋外消火栓) MPa 水圧試験 6.0 分以上 ○消火配管(連結送水管) MPa 水圧試験 6.0 分以上 ○消火配管(連結散水) MPa 水圧試験 6.0 分以上  ○蒸気配管 MPa 水圧試験 3.0 分以上 ○ブラン管 ☆ 4 水圧試験 3.0 分以上 ○水道配水用ポリエチレン管 ☆ 5 水圧試験 6.0 分以上 ○消火用ポリエチレン管 ☆ 5 水圧試験 6.0 分以上 ○水道用ポリエチレン管 ☆ 6 水圧試験 10 分以上  ○ MPa ○ MPa ○ MPa ○ MPa				
☆ 1 1日の法定冷凍能力が 5 トン未満の場合、当該機種メーカー標準圧力とする。 気密試験後は、機器製造者の基準による全系統の高真空蒸発脱水処理を行なう。とし、最小保持時間は 2 時間とする。 1日の法定冷凍能力が 5 トン以上の場合は「標準仕様書」による。 試験結果報告書には、試験の日付及び開始終了時刻、気温、試験方法、管配管所(室名等)、封入ガスの種類、基準及び試験圧力、保持時間等を記載する。 ☆ 2 貯蔵容器から選択弁までの配管の試験圧力は 4.0°C における貯蔵容器内圧力とする。ただし、容器弁に圧力調整装置が設けられている場合は、圧力調整装置の最高圧力装置の最高調整圧力をとする。 ☆ 3 貯蔵容器から選択弁までの配管の試験圧力は 40°C における貯蔵容器値 4.4 MPa とする。 ☆ 4 最高使用圧力の 1.5 倍の圧力、ただし最高使用圧力が 0.7 5 MPa 未満の場合は 0.7 5 MPa とする。 ☆ 5 1.7 5 MPa を 1 分間加圧後 1.0 MPa に減圧する。6.0 分後 0.7 MPa 以上で規定圧力以下の場合はその圧力を下げないで再加圧し、6.0 分後 0.8 MPa とする。 ☆ 6 0.7 5 MPa を 3 分間加圧し、1.0 分後 0.6 MPa 以上とする。					
共通工事	保溫(②. 3. 1. 1 ~ 6)	1 「標準仕様書」において、ロックウール保溫材、グラスウール保溫材及びボランフォーム保溫材が、併記された箇所は、何れを使用してもよい。ただし、管・排水管に保溫を施す場合は暗渠内(ビット内含む)・屋外露出及び浴室、等の多湿箇所はボリスチレンフォーム保溫材とする。 2 暗渠内(ビット内含む)の給水管の保溫。 ※要 ○不要			
3 屋外タンクのドレン管から排水弁までは保溫を施すこと。 4 消火管の屋外露出部分の保溫仕様は、給水管屋外露出に準じる。 5 屋内露出排水の保溫外装は下記による。 ※合成樹脂製カバー 1 または合成樹脂製カバー 2 6 屋外露出給排水・消火管の保溫外装は下記による。 ※「標準仕様書」による ○溶融アルミニウム-亜鉛鉄板 7 車庫内のダクト及び配管の保溫は機械室による。 8 冷媒管の保溫外装は下記による。 [屋内露出] ※合成樹脂製カバー 1 または合成樹脂製カバー 2 [屋外] ○ステンレス鋼板 ○溶融アルミニウム-亜鉛鉄板 ○塩化ビニル製 ○アルミニ合金製 ○溶融亜鉛めっき鋼板製 ○ステンレス鋼板製 ・保溫化粧ケースの下部カバーは、 ○要 ○不要 9. 冷媒管で呼び径 4.0 未満の断熱材被覆钢管を使用する場合 (1) 外装 [屋内露出(一般居室、廊下)] ※塩化ビニル製(浮かし工法) [機械室、書庫、倉庫、車庫] ※不要(要所テープ巻) ○ビニルテープ [天井内、パイプシャフト内及び空隙壁内] ※不要(要所テープ巻) ○ビニルテープ [暗渠内(ビット内を含む)] ※不要(要所テープ巻) ○ビニルテープ [屋外露出及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない)] ○塩化ビニル製 ○アルミニ合金製 ○溶融亜鉛めっき鋼板製 ○溶融アルミニウム-亜鉛鉄板 ●ステンレス鋼板製 (2) 保温材の厚さ 液管 ≈ 10 mm ガス管 ≈ 10 mm ただし、呼び径 9.5 以下は、保温材の厚さ 8 mm としてもよい。 10 ファンコイルユニット等のドレン管の保温は、給排水設備工事の排水管の項に 11 弁・ストレーナなどの金属製カバー外装種別は、下記による。 (1) 屋内 ○カラーアルミニウム-亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板 ○アルミニウム板 ○溶融アルミニウム-亜鉛鉄板 (2) 屋外 ○カラーアルミニウム-亜鉛鉄板 ○アルミニウム板 ○溶融アルミニウム-亜鉛鉄板 12 氷蓄熱配管系統の保温仕様は冷温水管の項に準ずる。 13 多湿箇所の換気ダクトの保温 ※不要 外気取入れダクトの保温 ※不要 ○要 ○要 14 全熱交換形換気扇の外気取入れダクトには保温を行なう。 上記 13、14 で保温を行なう場合の仕様は、「標準仕様書」第 2 編表 2. 3. 2 に。 15 排煙ダクト保温不要箇所は、下記による。 ○( ) 16 消音内貼りの施工箇所は図示によるものとし、詳細は下記による。 (1) チャンバーの寸法は、外形寸法を示す。 (2) ダクト及び消音エルボは、内径寸法を示す。 (3) 点検口は内貼仕様又は、断熱戸とする。					
共通事項	土埋設管の埋戻し土(②. 4. 2. 1)	すべて掘削土を使用する。(公道を除く)			
	残土処理(②. 4. 2. 1)	※構内指示の場所に敷きならし ○構内指示の場所にたい積 ○構外搬出適切処置(マニフェストの写し提出要) 残土処理は「標準仕様書」(②. 4. 2. 1)による他、「大阪市建設リサイクルガイド」の当該事項による。			

項目		特記事項																													
耐震措置 (③.2.1.1) (⑤.2.2.1) (②.6.1)		1 耐震措置の計算及び施工方法は、「標準仕様書」、「標準図」及び図示以外は、「建築設備耐震設計・施工指針(国土交通省土木技術政策総合研究所、独立行政法人建築研究所監修 2014年版)」による。 2 当該建物の耐震安全性の分類は、(※特定の施設 〇一般的の施設)とする。 3 下記の設計用水平震度及び鉛直震度により、据付ボルト・アンカーボルトなどの耐震性能を確認し、監督職員の承認を受ける。																													
(1) 設計用水平震度		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>一般水槽</th><th>重要水槽</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層階・屋上・塔屋</td><td>1.5</td><td>2.0</td><td>1.5 (2.0)</td><td>2.0 (2.0)</td></tr> <tr> <td>中間階</td><td>1.0</td><td>1.5</td><td>1.0 (1.5)</td><td>1.5 (1.5)</td></tr> <tr> <td>1階・地下階</td><td>1.0</td><td>1.5</td><td>0.6 (1.0)</td><td>1.0 (1.0)</td></tr> </tbody> </table>					一般水槽	重要水槽	一般機器	重要機器	上層階・屋上・塔屋	1.5	2.0	1.5 (2.0)	2.0 (2.0)	中間階	1.0	1.5	1.0 (1.5)	1.5 (1.5)	1階・地下階	1.0	1.5	0.6 (1.0)	1.0 (1.0)						
	一般水槽	重要水槽	一般機器	重要機器																											
上層階・屋上・塔屋	1.5	2.0	1.5 (2.0)	2.0 (2.0)																											
中間階	1.0	1.5	1.0 (1.5)	1.5 (1.5)																											
1階・地下階	1.0	1.5	0.6 (1.0)	1.0 (1.0)																											
		注) ( ) 内の数値は、防振支持の機器の場合を示す。 上層階・中間階の場合は次のとおりとする。 ・上層階：2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建は上層3階、13階建以上の場合は上層4階。 ・中層階・地下階及び階を跨ぐ階、上階層に該当しない階。 なお、重要機器は、下記に示すものとする。 (受水槽・消火水槽、 )																													
(2) 鉛直震度は、設計用水平震度の1/2とする。																															
(3) 機器廻り配管は「標準仕様書」(②.6.1)によること。																															
共通事項																															
あと施工アンカー確認試験改(②.5.2.3)		※適用しない。 ○摘要する ( ○性能確認試験 ○施工後確認試験 ) 試験箇所 ( )																													
機器類の能力、容量等の表示		機器類の能力、容量等はメーカー別による少些の相違は認める。																													
はつり及び穴開け		既存のコンクリート床・壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用することとし、作業前に鉄筋の探査を行うこと。なお、復旧はモルタル補修とする。また、いかなる場合においても柱・梁のはり及び貫通は行なてはならない。																													
公共工事労務費調査への協力について		1 本工事が本市の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合、受注者は、調査票等に必要な事項を正確に記入して本市に提出する等、必要な協力をなわなければならぬ。 また、本工事の工期経過についても、同様とする。 2 調査票を提出した事業所を本市が事後に、訪問して行なう調査・指導の対象に受注者がなった場合、受注者は、その実施に協力しなければならない。 また、本工事の工期経過についても、同様とする。 3 公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票の提出が行なえるよう受注者は、労働基準法等に従って就業規則を作成すると共に賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行なっておかなければならぬ。 4 受注者が本工事の一部について下請け契約を締結する場合には、受注者は、当該下請け工事の受注者(当該下請け工事の一部にかかる第二次以降の下請負入を含む)が1から3項と同様の義務を負う旨を定めなければならない。																													
設計時の温湿度条件		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">場所</th><th colspan="2">屋外</th><th colspan="3">室内(調整目標値)</th></tr> <tr> <th>一般事務室</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>冬季</td><td>2.0°C</td><td>57.9%</td><td>°C</td><td>%</td><td>°C</td><td>%</td></tr> <tr> <td>夏季</td><td>35.4°C</td><td>49.0%</td><td>°C</td><td>%</td><td>°C</td><td>%</td></tr> </tbody> </table>					場所	屋外		室内(調整目標値)			一般事務室	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	冬季	2.0°C	57.9%	°C	%	°C	%	夏季	35.4°C	49.0%	°C	%	°C	%
場所	屋外		室内(調整目標値)																												
	一般事務室	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																										
冬季	2.0°C	57.9%	°C	%	°C	%																									
夏季	35.4°C	49.0%	°C	%	°C	%																									
煙道(③.1.1.9)		1 材質 ※鋼板製 ○ステンレス鋼板製(SUS304・板厚は図示による) 2 ばいじん量測定口 煙道に80ヶ以上のフランジ付の測定口を設ける。																													
開放形排気タンク(③.1.13.5)		※鋼板製 ○ステンレス鋼板製(SUS304)																													
ダクトの種別(③.1.14.1)		1 空気調和用ダクト ※低圧ダクト ○高圧1ダクト ○高圧2ダクト 2 換気用ダクト ※低圧ダクト ○高圧1ダクト ○高圧2ダクト																													
グリス除去装置(③.1.14.8)		グリスフィルター予備 ※不要 ○要																													
排煙口(③.1.15.5)		1 排煙口の作動 ○手動 (○機械式 ○電気式) ○煙感知器連動 ○手元復帰式 (○機械式 ○電気式) ○遠方復帰式																													
防煙ダンパー(③.1.15.8)		※遠隔復帰式 ○手動復帰式																													
防火防煙ダンパー(③.1.15.9)		※遠隔復帰式 ○手動復帰式																													
定風量ユニット・変風量ユニット(③.1.15.13～14)		○メカニカル形 ○風速センサー形																													
気調和設備		1 空気調和用ダクト ※アングルフランジ工法 ※コーナーボルト工法(適用範囲は標準仕様書による) (※共板フランジ工法 ○スライドオンフランジ工法) 2 換気用ダクト ※アングルフランジ工法 ※コーナーボルト工法(適用範囲は標準仕様書による) (※共板フランジ工法 ○スライドオンフランジ工法)																													
ダクトの板厚(③.2.2.2)		厨房排気ダクトの材質及び板厚は下記による。 ○垂鉄板製 ○ステンレス鋼板製																													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>ダクトの長辺</th><th>板厚</th></tr> <tr> <th>垂鉄板製</th><th>ステンレス鋼板製</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.50mm以下</td><td>0.6mm</td><td>0.5mm</td></tr> <tr> <td>4.50mmを超える、1.200mm以下</td><td>0.8mm</td><td>0.6mm</td></tr> <tr> <td>1.200mmを超える、1.800mm以下</td><td>1.0mm</td><td>0.8mm</td></tr> <tr> <td>1.800mmを超えるもの</td><td>1.2mm</td><td>0.8mm</td></tr> </tbody> </table>					ダクトの長辺	板厚	垂鉄板製	ステンレス鋼板製	4.50mm以下	0.6mm	0.5mm	4.50mmを超える、1.200mm以下	0.8mm	0.6mm	1.200mmを超える、1.800mm以下	1.0mm	0.8mm	1.800mmを超えるもの	1.2mm	0.8mm									
ダクトの長辺	板厚																														
垂鉄板製	ステンレス鋼板製																														
4.50mm以下	0.6mm	0.5mm																													
4.50mmを超える、1.200mm以下	0.8mm	0.6mm																													
1.200mmを超える、1.800mm以下	1.0mm	0.8mm																													
1.800mmを超えるもの	1.2mm	0.8mm																													
風量測定口の取付位置(③.2.2.7.3)		※ユニット形空気調和機及びコンパクト形空気調和機に接続するダクト ○( )																													
予備 フィルター		<ul style="list-style-type: none"> <li>●バッケージ形空気調和機 (※100% ○%)</li> <li>○ユニット形空気調和機 (※100% ○%)</li> <li>○ファンコイルユニット (※100% ○%)</li> <li>○空気清浄装置用エアフィルター (※100% ○%)</li> <li>○全熱交換ユニット(エレメントは除く) (※100% ○%)</li> </ul>																													
シックハウス対策		換気扇、天井埋込型換気扇のスイッチ上部に「24時間換気」と記したシールを貼り付けること。																													
電線及び電線管(④.2.3.1)		1 本工事において使用する電線類は原則としてEM電線・EMケーブルとする。 2 特記なき電線管は、PF管(合成樹脂製可とう電線管)の単層管とし、隠蔽配管及びコンクリート打ち込み配管に使用する。 3 PF管で配管する場合の配線取出し口は、ボックスを使用する。																													
自動制御室																															
設計		大阪市水道局 工務部 設備課(機械) 令和6年度																													
工事名称		もと境川営業所空気調和設備取替工事																													
図名		機械設備工事特記仕様書 (1)																													

設計書（図面） AM-01【正】